

「大阪名所 じっくりMAP」

五代友厚の足跡を巡る
—中央区～西区—



ビーハブのアイスもなか



詳しくは
裏へ!



2015年に放送された連続テレビ小説「あさが来た」で人気を集め、その業績が改めて脚光を浴びている実業家、五代友厚。中央区の北浜にある、大坂取引所の正面には、堂々とした五代の銅像が建ち、その他、市内には5体（一般非公開含む）の五代像がありその名が刻まれています。薩摩藩士だった五代が縁もゆかりもない大阪で、明治維新により落ち込んだ経済を、官と民の立場から立て直し、いかにして“大阪経済の恩人”と呼ばれるようになったのか…。今回は大阪の商業の発展に尽力した五代の偉業の足跡を巡ってみましょう。

中央区～西区 案内人 蔵均 (K・H・ビル)

編集者。大阪市西区にある出版社・京阪神エルマガジン社に20年勤務し、雑誌『Lmagazine』『Meets Regional』の編集長を務める。西区発行の情報誌『にっしー』の編集にも携わり、地元情報に精通する。2017年4月に独立し、フリーランスの編集者となり、中央区北浜の大坂取引所のすぐ近くに事務所を構える。毎朝、五代の男前像に挨拶してから仕事場に通っているとか。